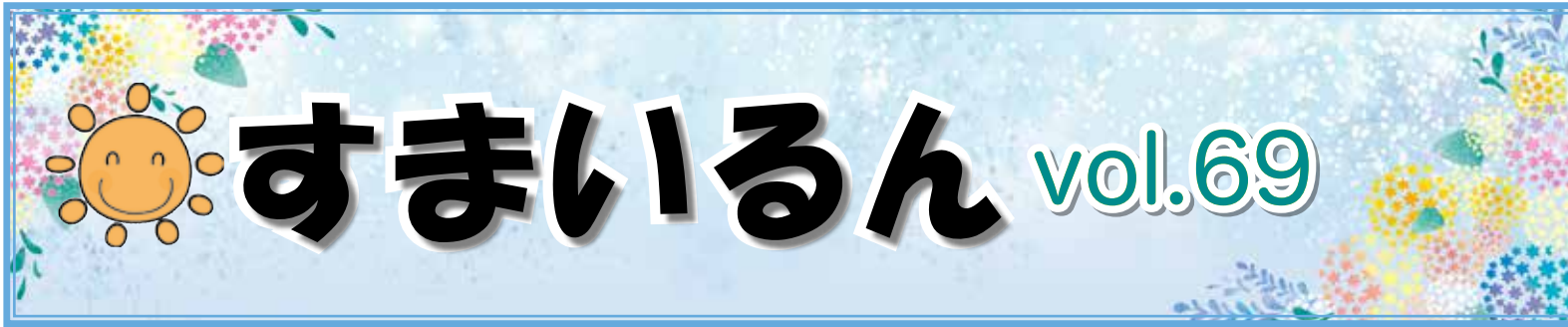




社会福祉法人 済生会 済生会熊本福祉センター	
就労継続支援A型・B型 就労移行支援 済生会かがやき	幼保連携型 認定こども園 済生会しらふじ子ども園 児童発達支援センター 済生会なでしこ園
就労継続支援B型 生活介護 済生会ほほえみ	済生会グループホーム事業所 済生会熊本福祉相談支援センター
就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ	熊本市障がい者相談支援センターさいせい 熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!!済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約620名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理 念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

基本方針 ・ライフステージに応じた自立を支援します。
・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
・利用者主体の福祉を実践します。



新入職員歓迎挨拶

済生会熊本福祉センター 所長 宮川 栄助

所長の宮川です。宜しくお願ひします。ご入職に際し、皆様に一言お祝ひのご挨拶を申し上げます。

風香り、桜咲くこの良き日にご入職されました皆さん、ご入職おめでとうございます。全職員205名を代表して心より歓迎申し上げます。皆さんにおかれましてはこの

日を心待ちにされていたことと思います。仕事に対する期待及び不安もあるかと思いますが、皆さんの期待に応えられるよう準備して参りましたのでご安心していただければと思います。

さて、当センターは、学生からの入職、または転職して福祉の世界へ飛び込む人、いろいろな人材を受け入れこれまで発展してきました。現在、全国の済生会の中では、障害者施設として最大規模となっており、県内でも規模、質ともにトップクラスになるまでになっております。それは取りも直さずここにいる先輩方が努力してこられたからに他なりません。皆さんは、この先輩方とともにこれから当センターを引っ張って行くこととなりますが、仕事に就くにあたり三つお願いがあります。

まず、第一に社会人としてのマナー、協調性、コミュニケーション等は勿論のことですが、自分で考え、自分で仕事を創り上げる力を身につけて頂きたいということです。考えることを鍛えることは、とても大切でこれをスマホからの情報収集だけに委ねてはいけません。ともすれば受け身になり言われたことしかしない、考えないで安易に情報収集するということになりがちです。是非先輩方と良い議論をして頂き、仕事の質、価値を高めて頂ければと思います。

なぜならば当センター全ての事業の支援サービスの特徴として、「無形性」「不可分性」「変動性」「消滅性」があると言われていているからです。

1. 無形性とは、サービスが提供されるまでその内容を有形製品のように確かめることが難しいということです。
2. 不可分性とは、サービスの提供と消費が同時であるということです。同時性とも呼ばれます。
3. 変動性とは、誰が、どこで、いつ提供されるかに依存するため、サービスの質である職員の言動、知識や技術等によって差が生まれることです。

4. 消滅性とは、その場その場でのみ存在し、やり直しが出来ないことです。要するに仕事の中身に対しての評価が非常に難しく奥が深い業務ということです。是非、自分の仕事の質、価値を高めるためには先輩方、同僚と一緒に切磋琢磨してもらい人間的にも成長してもらいたいと思います。

第二に「顧客は誰か」をしっかりと認識して頂くことです。

福祉の世界は、いろいろな顧客が存在します。就労継続支援事業であれば、「利用者」「利用者のご家族」「事業の取引先、商品を購入いただくお客様」、「地域住民」「行政」などです。子ども園及び児童発達支援センター事業であれば、「園児」「園児のご家族」「地域住民」「行政」などです。事務局であれば、「職員」「取引先」「行政」など、どの事業、どの職種においても多数のステークホルダーが顧客になります。この顧客こそが私たちにとって財産でありこの顧客に満足いただくことが私たちの仕事の本質であり、価値だと思って頂ければと思います。特に就労支援事業においては、一般企業と対等にあるいは利用者支援と経営安定による工賃向上という二つの目的を達成しなければなりません。経営センスを持って利用者支援を行うという二刀流を極めなければならないということです。

第三に変化に対応する若しくは順応する能力を身につけてもらいたいと思います。

当センターは、九つの事業を運営しています。従って専門職、事務職に限らずジョブローテーションを不定期ではありますが行っており、いろいろなスキルを身につけることが出来る特徴を有しています。どこに配置されても順応し、その変化に対応できる人材になってもらいたいと思います。最近、世の中ではリスクリングの重要性が話題になっていますが、福祉の世界も年齢がいくつになっても学び続ける必要があります。また、学びに対する支援も充実させてゆく予定です。変化に対応するために学びつづけてもらえればと思います。

当センターを開設して2024年で20周年となります。当センターの第三の創業として位置付け、20周年事業としてさまざまなプロジェクトが同時に進行しております。皆さんとともに力を合わせてこれらのプロジェクトを達成したいと思います。そういう意味では皆さんは、20年という節目のとても良い時期にご入職されたと思います。忙しい毎日になるかと思いますが、全国から見学、研修が絶えない日本でもトップクラスの福祉センターと一緒に作り上げましょう。是非皆さんの若い力を貸して下さい。宜しくお願いします。

新入職員 紹介

済生会かがやき



吉本 凛音

所属
済生会かがやき 支援員

自己PR
何事にも丁寧にに取り組む姿勢を大切にしているので、仕事も一つ一つ丁寧にやりたいです。

済生会ウイズ



石田 桃花

所属
済生会ウイズ 支援員

自己PR
持ち前の笑顔と明るさを忘れず、積極的に皆さんと交流していきます。

済生会ウイズ



甲斐田 正子

所属
済生会ウイズ 作業指導員

自己PR
明るく元気をモットーにしています。見かけによらず、力持ちです。

済生会なでしこ園



清原 麻代

所属
済生会なでしこ園 保育士

自己PR
チャレンジする事を大切にしているの、仕事においても積極的に行動していきます。

済生会なでしこ園



吉良山 芽依

所属
済生会なでしこ園 保育士

自己PR
器用なタイプではありませんが何事にも積極的に取り組みます。

済生会なでしこ園



上東 綾乃

所属
済生会なでしこ園 保育士

自己PR
目標に対してひたむきに取り組むことができるので、丁寧に仕事をしたいと思います。

済生会しらふじ子ども園



住本 和弥

所属
済生会しらふじ子ども園 労務員
済生会なでしこ園 運転手

自己PR
見た目はとっつきにくそうと言われますが、真逆ですので、気軽にお声かけください!

済生会しらふじ子ども園



中村 莉瑠

所属
済生会しらふじ子ども園 保育教諭

自己PR
私は何事も全力で取り組むことができます。この長所を活かし、園に貢献したいです。

済生会しらふじ子ども園



村田 知穂

所属
済生会しらふじ子ども園 保育教諭

自己PR
広い視野を持ち、積極的に行動して丁寧に仕事に取り組んでいきます。

事務局



平井 由宣子

所属
事務局 総務室

自己PR
自分らしく明るく元気に皆さんと関わっていききたいと思ひますので宜しくお願いします。

事務局



水野 千智

所属
事務局 総務室

自己PR
計画的にコツコツと物事に取り組めることが強みだと思います。よろしくお願いします。

新任式・オリエンテーション

2023年4月3日、済生会熊本福祉センターではかがやき1名、ウイズ1名、なでしこ園3名、しらふじ子ども園2名、事務局2名の9名を対象に、ほほえみ多目的ホールで新任式とオリエンテーションを行いました。

新任式では、はじめに宮川所長から挨拶を頂き、新入職員は緊張した面持ちで辞令交付を受けました。その後、石田支援員からともしっかりとした新入職員代表挨拶が行われました。また、各事業所の管理者紹介、先輩職員との顔合わせ、新入職員の自己紹介を行いました。

引き続き行ったオリエンテーションでは、宮川所長より済生会や熊本県支部の組織、福祉センターの理念・基本方針について、小西事務長より各事業所の紹介、人材育成方針・目標管理制度・人事評価について、木下所長補佐よりコンプライアンス・虐待防止・身体拘束について講義が行われました。目標管理



についての研修の中では、新入職員は実際に目標を作成し、発表してもらいました。

当センターでは、4月より人事制度改革第2弾を実施しました。職員が長く安心して働ける環境を作り、利用者支援や保育の質を上げていけるよう、より一層取り組んでいきます。

心を込めて ご挨拶

地域連携委員会

地域連携委員会では昨年度より新たな取り組みとして、福祉センターと関わりのある地域の方々へ花を配り、つながりを深める活動を行っています。何もかもが初めてで手探りな状況ですが、第一回目の取り組みとして、ナデシコとノースポールの花の苗をほほえみの利用者の方が植え、水やりをして育てました。根を張ってきたころに、ほほえみで作成した『よろしくおねがいします 済生会熊本福祉センター』の札を付け、心を込めて南消防署飽田天明出張所と熊本市立天明中学校に届けました。地域の方にとって福祉センターが「聞いたことある！知っている！」と身近な施設になることを目指し、今後も様々な取り組みを行っていききたいと思います。



お見知り遠足



済生会しらふじ子ども園

4月22日（土）お見知り遠足を「熊本動植物園」で行いました。

当日は、しらふじ子ども園以外にもたくさんの園が同じように遠足を計画されていたようで、集合出来るまでに大変時間がかかり、ご迷惑をお掛けしました。

まず、最初に保護者総会を行ったあと、『シールラリー』の始まりです。地図に記された3つの場所をめぐり、シールを3つ集めたらゴールです！お父さん・お母さんととことこ歩いてきた未満児クラスのお友だちもいれば、お友だちや小学生の兄弟たちと走って3ヶ所を回りあつという間にゴールするお友だちもいましたよ。

お天気に恵まれて、遠足日和でした！子どもたちや保護者の方にとって、楽しい1日になったようです。



はじめての親睦会



地域生活定着支援センター

地域生活定着支援センターでは、5月16日に親睦会としてBBQを行いました。今回は、対象者の方12名が参加されました。当日はお天気も良く、BBQ日和となりました。はじめての試みで、職員も手探り状態ではありましたが、みなさんが楽しそうにすごされている姿を見てホッとしました。老若男女さまざまな方たちが、お互いに協力しながら参加していただき、とても楽しい時間となりました。今後もみなさんの孤独感を解消できるような取り組みを企画していききたいと思います。



障がい者スポーツ大会

済生会ウイズ

4月23日（日）に障がい者スポーツ大会のフライングディスク、5月21日（日）にボウリング・陸上競技予選会が開催されました。当日は快晴で選手の皆さんが繰り広げる灼熱したプレーを見ていると、応援する側も熱い気持ちになりました。予選会中、ナイスプレーが出ると「おー。すごい」と拍手が沸き上がっていました。

選考の結果、ウイズから出場された湯川光市さん（フライングディスク）、高橋歩さん（フットソフトボール）の2名が全国障がい者スポーツ大会への出場を決めました。

出場者紹介（他事業所含む）

【ボウリング】

ウイズ…… 乗富さん、久米田さん、田代さん、
中村さん、深迫さん
ほほえみ… 境さん

【陸上競技】

ウイズ…… 江崎さん
（ソフトボール投げ）
かがやき… 本田さん（800m）



つむぎのじかん

済生会なでしこ園

～家族の持つ力を引き出す支援～

先日、済生会なでしこ園では保護者勉強会である「つむぎのじかん」が行われました。今年度のテーマは「子どもたちの生活を支える環境のヒント」ということで、支援の視点や考え方について2日間に渡って学び、家庭生活に活かすことを目的としました。子どもたちが支援を通して安心感を得ながら自信を持って生活する姿に、保護者の方々も子育てのヒントが見つかったようです。またグループ活動を通して保護者の方同士の交流の場ともなったようでした。



発行所

済生会熊本福祉センター

発行責任者 宮川 栄助

編集 広報委員会

熊本市南区内田町3560-1

TEL 096-223-3330

FAX 096-223-3429

<https://www.sk-fukushi.jp/>

